

注意

- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
- お読みになった後は、いつでも見られるように必ず保管してください。

安全上のご注意 必ずお守りください

お使いになる人や他の人の危険、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危険や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は、絵表示の一例です。)

このような絵表示は、気を付けていただきたい「注意喚起」内容です。

■ご使用になる前に

十分に充電してからご使用ください

ご使用前に、時計の秒針が正しく1秒運針していることを確認してください。秒針が2秒運針していたり、停止しているときは、充電不足と思われます。その際はソーラーセルに十分光を当てて充電するか又は、手振りによる充電を行ってからご使用ください。

光を当てて充電する際、光源に時計を近づけ過ぎないでください。時計が高温になると故障の原因になります。

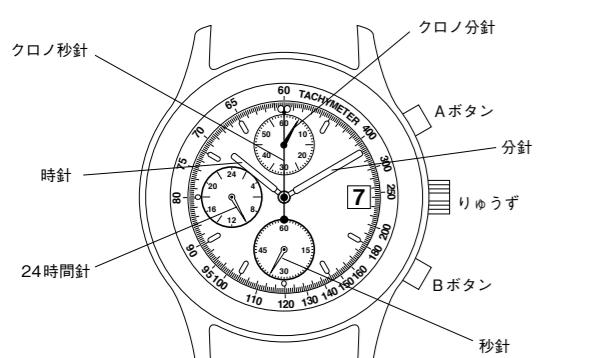
■商品の特徴

この時計は、文字盤面にソーラーセルを配し、光エネルギーを電気エネルギーに変換する光発電機能に加え、搭載中の「時計の動き」を電気エネルギーに変換する自動巻発電機能を搭載したアナログウォッチです。また、1/5秒単位で計測が可能なクロノグラフ機能(60分計)を有しています。

この時計には、発電した電気エネルギーを蓄えるために、水銀などの有害物質が一切使われていない二次電池を使用しています。

この二次電池は、充電、放電を繰り返し行えるため、一般的時計の電池のように定期的な電池交換の必要はありません。

■各部の名称



■この時計の上手な使い方

この時計は、1日1時間以上(1,000lx以上)光りに当てるか、12時間以上腕に携帯することで、「時計を約1日以上動かすに必要な充電量」を得ることができます。ただし、光りの強さや当て方、携帯方法や腕の動きなど個人差によって充電量は変わりますのでご注意ください。

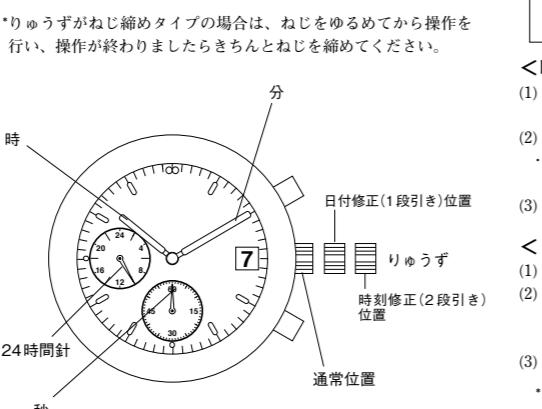
毎日携帯してご使用になる場合

この時計を毎日光りに当てるか、12時間以上携帯される方は、毎日少しづつ追加充電していきますので、意識的に充電をしなても時計は動き続けます。ただし、光りの弱い場所での使用やデスクワークなどで携帯中の運動量が少ない場合は、ときどき手振りによる充電を行なってください。

携帯時間(日数)が少ない場合

携帯時間が短く時計が光る機会が少ない方や、腕に携帯しない方などはときどき手振りによる充電を行なってください。また、ときどき携帯されるという方は、携帯前に充電不足で時計が止まっていることがあります。このような場合は、携帯前に必ず光りに当てるか手振りによる充電を行なってください。充電後時刻合わせをおこなってからご使用ください。

■時刻・日付の合わせ方



時刻合わせの際、時計が止まっていたり秒針が2秒運針している場合は、「ソーラーパワーウォッチ充電の仕方」を参照して充電し、もとの1秒運針に戻してから時刻・日付合わせを行ってください。

時刻合わせ

- 秒針が0秒位置で停止するようにりゅうずを時刻修正2段引き位置にします。
- りゅうずを回して時刻を合わせます。
- 日付が切り替わった時が午前0時です。午前、午後を間違えないように時刻合わせを行ってください。
- 時報などに合わせてりゅうずを通常位置に戻します。

日付合わせ

- りゅうずを日付修正位置(1段引き)位置にします。
- りゅうずを回して日付を合わせます。
- りゅうずを手前に回す(左回り)と日付が1日進み、反対に回す(右回り)します。
- りゅうずを通常位置に戻します。

* 時計が午後9時~午前1時の間を示しているときは、日付の修正を行わないでください。この間に修正を行うと、翌日になってしまって日付が切り替わらないことがあります。

■クロノグラフの使い方

このクロノグラフは、0.2秒(1/5秒)単位で最大59分59秒まで計測表示します。60分計測終了後は、リセット表示に戻り停止します。

- クロノグラフをリセットしたときにクロノ秒針が0秒位置に戻らない場合には、「クロノ秒針の位置合わせ」を参照してクロノ秒針の針位置を修正してください。

計測方法

- (A)ボタンを押す毎にスタート/ストップします。
- ストップ中に(B)ボタンを押すとリセット表示に戻ります。

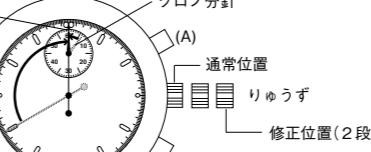
* クロノグラフ計測中に(B)ボタンを押すと、リセット表示に戻ります。

リセット (A) 計測 (A) ストップ (B) リセット

繰り返し操作できます

■クロノ秒針の位置合わせ

二次電池交換後や時計に強い衝撃などが加わると、まれにクロノ秒針がずれてしまう場合があります。クロノグラフをリセットしたときにクロノ秒針が0秒位置に戻らない場合には、次の手順で針の位置を修正してください。

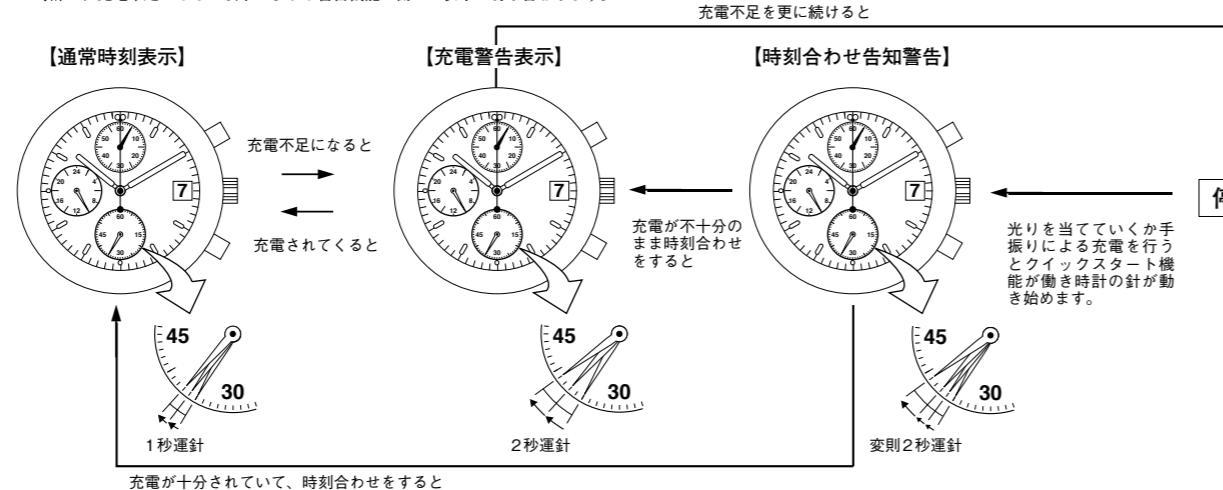


修正方法

- りゅうずを修正位置(2段引き)位置にします。
- (A)ボタンを押す毎にクロノ秒針を0秒位置に修正します。
- (B)ボタンを押す毎に時計回りで0.2秒(1/5秒)ずつ修正できます。(ボタンを押し続けると早送りできます。)
- りゅうずを通常位置に戻します。
- (B)ボタンを押す毎にクロノ分針とクロノ秒針が0秒位置に戻ることを確認します。
- クロノ秒針修正中にクロノ分針も一緒に動きますが、(B)ボタンを押すとクロノ分針は0秒位置に戻ります。
- 位置合わせ終了した後は、必ず時刻を合わせてください。

■ソーラーパワーウオッチ特有の機能について

この時計は、充電不足になると以下の警告機能が働いて表示が切り替わります。

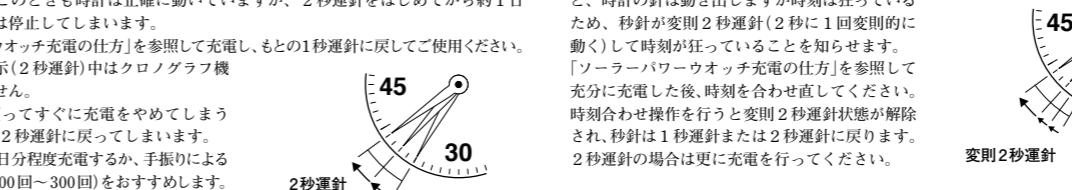


この時計は、充電不足になると警告機能が働いて表示が切り替わります。

充電警告機能

秒針が2秒運針(2秒に1回2秒目盛づつ動く)しているときは、時計が充電不足であることを知らせます。このときも時計は正確に動いていますが、2秒運針をはじめてから約1日経過すると時計は停止してしまいます。「ソーラーパワーウオッチ充電の仕方」を参照して充電し、もとの1秒運針に戻してご使用ください。尚、充電警告表示(2秒運針)中はクロノグラフ機能を止めさせます。

* 1秒運針に戻ってすぐに充電をやめてしまうと、数分後に2秒運針に戻ってしまいます。光を当てて一日分程度充電するか、手振りによる充電(手振り200回~300回)をおすすめします。



■ソーラーパワーウオッチの警告機能について

この時計は、充電不足になると警告機能が働いて表示が切り替わります。

時刻合わせ告知機能

充電不足で1度止まつた時計が再び充電されるとき、時計の針は動き出しますが時刻は止っているため、秒針が変則2秒運針(2秒に1回変則的に動く)して時刻が狂っていることを知らせます。「ソーラーパワーウオッチ充電の仕方」を参照して充分に充電した後、時刻を合わせてください。時刻合わせ操作を行って変則2秒運針状態が解除され、秒針は1秒運針または2秒運針に戻ります。2秒運針の場合は更に充電を行ってください。

* 1秒運針に戻ってすぐに充電をやめてしまうと、数分後に2秒運針に戻ってしまいます。光を当てて一日分程度充電するか、手振りによる充電(手振り200回~300回)をおすすめします。

■お取り扱いにあたって

警告 防水性能について

- 日常生活防水時計(3気圧防水)は、洗顔などには使用できますが、水中での使用はできません。
- 日常生活強化防水時計(5気圧防水)は、水泳などには使用できますが、素潜り(スキンダイビング)などには使用できません。
- 日常生活強化防水時計(10/20気圧防水)は、素潜りには使用できますが、スキーパ潜水・ヘリウムガスを使う飽和潜水には使用できません。

防水性について

- 時計の文字板及びぶたの防水性能表示をご確認の上、表をご参照の上正しく使用ください。(1barは約1気圧に相当します)

名称	表示	仕様
日常生活用防水時計	無表示	WATER RESIST(ANT)
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST(ANT) 5barまたは WATER RESIST(ANT)	5気圧防水
日常生活用強化防水時計	WATER RESIST(ANT) 10barまたは WATER RESIST(ANT)	10気圧防水 20気圧防水

* WATER RESIST(ANT) △ barはW.R. △ barと表示している場合があります。

注意

* りゅうずは常に押し込んだ状態(通常位置)でご使用ください。りゅうずがねじ締めタイプであれば、しっかりと固定されているか確認してください。

* 水分のついたままでりゅうずボタンの操作をしないでください。時計内部に水分が入り防水不良となる場合があります。

* 皮革バンドは材質の特性上、水に濡れると耐久性に影響がでる場合があります。

* 水の中で使うことが多い日常生活防水時計の場合は脱着、接着はがれなどの不具合を起こすことがありますので、あらかじめ他の材質のバンド(金屬製またはゴム製)にお取り替えの上、ご使用ください。

* 日常生活防水時計の場合、海水に浸した後や多量の汗をかいた後は、真水でよく洗い、よく拭き取ってください。

* 万一、時計内部に水が入ったり、ガラス内面にキモが発生し長時間消えないときはそのまま放置せず、お買い上げ店または、最寄りの弊社お問い合わせ窓口へ修理、点検を依頼してください。

* 時計内部に海水が入った場合は、箱やビニールに入れてすぐに修理依頼をしてください。時計内部の圧力が高まり、部品(ガラス、りゅうず、ボタンなど)が外れる危険があります。

注意 携帯時の注意

- 幼児を抱くときは、幼児のけがや事故防止のため、あらかじめ時計を外すなど充分ご注意ください。
- 激しい運動や作業などをを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止のため、充分ご注意ください。

* サウナなどの時計が高温になる場所では、火傷の恐れがあるため絶対に使用しないでください。

* ウレタンバンドは、衣類等の染料や汚れが付着し、除去できなくなることがあります。色落ちするもの(衣類、バック等)と一緒に使用する場合はご注意ください。

* 時計を長時間お風呂や湯船などに入浴する場合は、時計が水没する危険があります。

* 時計を長時間お風呂や湯船などに入浴する